

諸家系譜

位三
あ天野

庫文官政太		和書門
三三九	三四九	
二三九	架函號類	

共二百廿五内

庫文閣内		和書
三五八	三三九	
架冊	架冊	架冊

共八十七

内閣文庫		
番號	和	32649
冊數	225 (195)	
函號	156	23



東之り西の
紙張法を

方
紙張法を

あ
馬車山石印
方紙張法
三十四
方

小巻紙張法を
天野山石印

多事此

天野氏

奉教九月三日

中教同日

習教九月二日

政事

仁孝

久壽 多事 惟是 隆教

心久

由 奉教 隆教

奉 隆教

奉 隆教

宣 隆教

隆教

宣元元年正月廿五日... 隆教

政列 隆教

新教

政直 隆教

隆教

父後山門被督

二百五十九兩

正豊

母 留良女

書 川尻吉右衛門為父上地 山平親江前妻女

延宝三十二年十月廿一日自京元子年十月
十日 即日見之原上之海平吉右衛門
由替入松平之計江前之原上之海平
少子之入大曾吉右衛門之原上之海平
二年十月廿一日自京元子年十月
二年十月廿一日自京元子年十月
号正定流是也

某

母 三統

正京

平良女 山良女

宣文入 江前原上之海平後之曾

宣女 四指子以松平之原上之海平

書 川尻吉右衛門為父上地 山平親江前妻女

書 大川吉 山平親江前妻女

名原上之海平十月廿一日自京元子年十月
十日 即日見之原上之海平吉右衛門
由替入松平之計江前之原上之海平
少子之入大曾吉右衛門之原上之海平
二年十月廿一日自京元子年十月
二年十月廿一日自京元子年十月
号正定流是也

七の代は貞平年号月日... 任事...
 任事... 貞平... 貞平...
 貞平... 貞平... 貞平...
 貞平... 貞平... 貞平...
 貞平... 貞平... 貞平...
 貞平... 貞平... 貞平...

改自
 白所...

母之代女

貞平... 貞平... 貞平...

正信
 仰... 仰...

母之代女

実父
 実母

素...

貞平... 貞平... 貞平...

九月廿五日壬戌九月廿五日九月廿五日

正備

母 多女

母中八... 母中七... 母中六... 母中五... 母中四... 母中三... 母中二... 母中一...

信忠

母 一

母中七... 母中六... 母中五... 母中四... 母中三... 母中二... 母中一...

正方

正方部

母中九... 母中八... 母中七... 母中六... 母中五... 母中四... 母中三... 母中二... 母中一...

母 一

母中九... 母中八... 母中七... 母中六... 母中五... 母中四... 母中三... 母中二... 母中一...

母 一

母中九... 母中八... 母中七... 母中六... 母中五... 母中四... 母中三... 母中二... 母中一...

女

母 一

心儀

御印

母 三郎氏女

素 長身同利寺元光後初宮院女

高尾氏年八子御孫

素 貞公 福徳寺元昭康子

寛政十一年一月御孫

明和元年正月御孫
入徳寺元光後初宮院女
高尾氏年八子御孫
寛政十一年一月御孫

寛政六年正月御孫
高尾氏 上寛

女 女
高尾氏 上寛

女 高尾氏 上寛

女 高尾氏 上寛

正南 八郎

女 福徳氏女

東
母
木

母
母

右
通
江
所
之

之
音
後
如
國
語

寶
藏
土
之
事

酒
之
表
示
所
方
所
市
之
音
後
如
國
語
之
事

天
師
御
之
事
五

未
之
音
後
如
國
語

系
譜

天
師
御
之
事
五

あ
母
母
母

三
音
之
後

天
師
御
之
事
五

天
師
御
之
事
五

友美

天野

幕後

中後

智後

八分書

九分書

十分書

五分書

東陽門院御書

大御所御書

康明

母

書

寛永十二年四月二十日
四月廿五日
五月廿五日
六月廿五日
七月廿五日
八月廿五日
九月廿五日
十月廿五日
十一月廿五日
十二月廿五日

康子

大御所御書
定每

年号月日
元禄二年
享保九年
正保九年

康信

母

書

初八

貞享九年... 御前
御前
御前

御前
御前

御前

御前
御前

御前
御前
御前

御前
御前

慶長

立派 判發有條

母

安永七年平河守人河津重頼の
御国書より安永七年申すに
立派の御用物付はるに
御用物付はるに御用物付はるに
御用物付はるに御用物付はるに
御用物付はるに御用物付はるに

元友

西村高

慶長

母

安永七年平河守人河津重頼の御国書より

安永九年平河守人河津重頼の御国書より

安永十年平河守人河津重頼の御国書より

安永十一年平河守人河津重頼の御国書より

安永十二年平河守人河津重頼の御国書より

安永十三年平河守人河津重頼の御国書より

安永十四年平河守人河津重頼の御国書より

安永十五年平河守人河津重頼の御国書より

康和 少次郎 足方 貴子

母

康和 卯

地門

康和

少治郎

五郎

定年

定母 田代女

安永五年辛未年十月廿五日
壬午年十月廿五日
十一月廿五日

右

三

中

貴政上

三

正

末
松平

友
字

系

あ

松平
天中

友多氏

奉安九月廿七日

天野氏

奉安九月廿七日

奉安

天野氏

康世

母 在母海... 奉安

奉安

宣统七年... 奉安

年号月日... 奉安

康好

又月日

母 奉安

奉安

延喜八十年二月... 入
... 延喜八十年十月...
... 延喜八十年七月...

康化

... 康化... 延喜八十年...

延喜八十年二月... 入
... 延喜八十年七月...
... 延喜八十年七月...

康泰

十三年八月 幼幼市

母 久河氏女

本 大前 栢山氏出一女

享保十三年七月十八日 康泰建治元年
八月廿六日 享保十三年八月廿九日 康泰建治元年
九月廿九日 享保十三年九月廿九日 康泰建治元年
十月廿九日 享保十三年十月廿九日 康泰建治元年
十一月廿九日 享保十三年十一月廿九日 康泰建治元年
十二月廿九日 享保十三年十二月廿九日 康泰建治元年

康建

三所 三所 三所

母 日向氏

享保十三年九月廿九日 康建建治元年
十月廿九日 康建建治元年
十一月廿九日 康建建治元年
十二月廿九日 康建建治元年

康平

母 日向氏

享保十三年八月廿九日 康平建治元年
九月廿九日 康平建治元年
十月廿九日 康平建治元年
十一月廿九日 康平建治元年
十二月廿九日 康平建治元年

康明

三所 三所 水馬

母 日向氏

享保十三年八月廿九日 康明建治元年
九月廿九日 康明建治元年
十月廿九日 康明建治元年
十一月廿九日 康明建治元年
十二月廿九日 康明建治元年

高 表父 三郎志信 康安女

享保十一年生

延享元年八月廿七日

入母氏以流産者母氏内

享保元年三月廿七日

延享元年九月廿七日

享保元年九月廿七日

在母氏以流産院行

康安

延享元年

母 三郎申女 康安

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

延享元年三月廿七日

孝長

世田德八郎

母 好女

以心丸屋年一十一、公書田長治院
以心丸屋年一十一、公書田長治院

女

好女

以心丸屋年一十一、公書田長治院
以心丸屋年一十一、公書田長治院

女

好女

以心丸屋年一十一、公書田長治院

康長

康長

母 好女

好女

好女

以心丸屋年一十一、公書田長治院
以心丸屋年一十一、公書田長治院

養女

好女

以心丸屋年一十一、公書田長治院

好女

以心丸屋年一十一、公書田長治院

以心丸屋年一十一、公書田長治院

以心丸屋年一十一、公書田長治院

右通

あ
友

玉譜

玉譜
七回巻

七回巻
二十七巻〇

卯丸
卯丸
玉譜

玉譜

玉譜

玉譜

卯丸
卯丸
卯丸

幕之故 元弘二年
水之故 凡自之故

五神宮... 遠... 天... 皇...

久重

印...

母

母...

妻

母...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

心利

...

...

...

書院保所八元德六年十月廿四日

皇朝書院書院書院

音信多事至本保院諸君

口下子事平下口下

天門下口下口下

口下口下口下

口下口下口下

久雲

書院書院書院

如川升七西久利女

書院書院書院

書院書院書院

口下口下口下

有德院保所八元德六年十月廿四日

皇朝書院書院書院

音信多事至本保院諸君

口下子事平下口下

天門下口下口下

蘇氏有子... 院常久... 永

弟久

三原守

室母

大友傳海島... 京女

院母

三原守... 京女

妻

三原守

後院傳... 院常久... 永

市河... 院常久... 永

其後... 院常久... 永

昌房

三原守

三原守... 院常久... 永

昌房

三原守

室母

院母

三原守... 院常久... 永

妻

三原守... 院常久... 永

妻

三原守... 院常久... 永

久保 孫之節

如 如女

如子 如 如女

如子 如子

如子 如子 如子

寛政十一年

三郎 如子

未了有由
漢中

如子 如子
如子 如子

系譜

あ 編
至四 口 反

如子 如子
如子 如子
天野 如子

和歌傳實見收十一未年三月歲次
 庚申年及之配之長子以之
 以實見收十一年之
 一收書載未年之收書除
 以之收書之收書之未年之
 水落實見收十一年之
 之收書之收書之未年之
 以之收書之收書之未年之
 之收書之收書之未年之
 之收書之收書之未年之

天師傳

天師

天師冠澤是古和年丹後守保昌
 虎澤國天師那澤保昌子以國那
 保人古澤守保保昌其後天師改
 幕之收
 泉之收 共九之月二日之收
 收
 八之雨子
 右收和和事家天師古澤保昌收

左衛門院様洋殿終身同出一門所由也
保昌公二十二代後胤天野経成由之房惣所

景隆

天野甚右衛門

母妻 不知

生年月日不知

康景

二子

常時院者太田右衛門經天野所由
康哉家

右衛門院様終身同出一門所由也

景房

傳信門

母妻 不知

生年月日不知

神后御前公女位位記之配也

水海公養成年七月終身同出一門所由也
母妻 不知

天正十之癸申年二月廿日殺御陣信子

慶長四己亥年三月廿日死

葬所不知 号 岩陽強吉

清宗

德島

母妻

石水

生之訓

神皇正統記

台體云云以為 附以之旨 御事云云

慶長又冬子年九月十日 濱花園系

御所供進之旨 御所御藏揚公以

西行信

同十八年戊午

御所御藏揚公

後河本綱之殿 上以孫也 殿之時 御事

後河本綱之代 自於後河本綱

乃千石衣 知以揚公 後河本綱

實德元元甲申年 正月 揚公御事

少領子 御國為心 上在紙於御所

公儀 御所人 汝乃揚公

白得之丙戌年 亦有之 於鳥山丸

華子鳥山蓋各寺 号淨心院 良溪

某

傳信部

清倫

傳信部

如書

石紙

生三列

名簿

印目見在江佐佐藤

臨河故少少合以屋又信云之所
城勇地之親長以路之也德園鳥也
親長及後松平信長之親親好有
信長之少少也河野信長之信母信長
名山少紙

教有云 川代

寬文十一年七月是光印目之依

御教頭也 乙巳

同上月二音信揚

同上月二年六月是信書院書可也

是信書院也

天和二年七月是信書院書也

是信書院也

元禄二年七月是信書院書也

是信書院也 天朝院清岳

宗勝

傳

清盛

八

宗行

善

二

宗景

正

善

石河子田

清行

五

傳

田

生

延喜六年午年一月

入

永井

元

舞

号

倫良

善

清宣

傳

右

清芳

傳

傳

田

延宝八年甲申年七月七日
海月八日水月九日
入
宝永元年八月
内
元禄元年八月
元禄二年八月
元禄三年八月
元禄四年八月
元禄五年八月
元禄六年八月
元禄七年八月
元禄八年八月
元禄九年八月
元禄十年八月
元禄十一年八月
元禄十二年八月
元禄十三年八月
元禄十四年八月
元禄十五年八月
元禄十六年八月
元禄十七年八月
元禄十八年八月
元禄十九年八月
元禄二十年八月
元禄二十一年八月
元禄二十二年八月
元禄二十三年八月
元禄二十四年八月
元禄二十五年八月
元禄二十六年八月
元禄二十七年八月
元禄二十八年八月
元禄二十九年八月
元禄三十年八月
元禄三十一年八月
元禄三十二年八月
元禄三十三年八月
元禄三十四年八月
元禄三十五年八月
元禄三十六年八月
元禄三十七年八月
元禄三十八年八月
元禄三十九年八月
元禄四十年八月
元禄四十一年八月
元禄四十二年八月
元禄四十三年八月
元禄四十四年八月
元禄四十五年八月
元禄四十六年八月
元禄四十七年八月
元禄四十八年八月
元禄四十九年八月
元禄五十年八月
元禄五十一年八月
元禄五十二年八月
元禄五十三年八月
元禄五十一年八月
元禄五十一年八月

元禄元年八月
元禄二年八月
元禄三年八月
元禄四年八月
元禄五年八月
元禄六年八月
元禄七年八月
元禄八年八月
元禄九年八月
元禄十年八月
元禄十一年八月
元禄十二年八月
元禄十三年八月
元禄十四年八月
元禄十五年八月
元禄十六年八月
元禄十七年八月
元禄十八年八月
元禄十九年八月
元禄二十年八月
元禄二十一年八月
元禄二十二年八月
元禄二十三年八月
元禄二十四年八月
元禄二十五年八月
元禄二十六年八月
元禄二十七年八月
元禄二十八年八月
元禄二十九年八月
元禄三十年八月
元禄三十一年八月
元禄三十二年八月
元禄三十三年八月
元禄三十四年八月
元禄三十五年八月
元禄三十六年八月
元禄三十七年八月
元禄三十八年八月
元禄三十九年八月
元禄四十年八月
元禄四十一年八月
元禄四十二年八月
元禄四十三年八月
元禄四十四年八月
元禄四十五年八月
元禄四十六年八月
元禄四十七年八月
元禄四十八年八月
元禄四十九年八月
元禄五十年八月
元禄五十一年八月
元禄五十二年八月
元禄五十三年八月
元禄五十一年八月
元禄五十一年八月

同平二月少喜入母年為之亦知
 身全收後
 同平八月臨在
 同平三月之古如
 同平八月喜入
 同平八月喜入
 同平八月喜入

号 水身流量卷

清寶 凡四

母 上母

素 元甲府知事

後素 元甲府知事

正德之癸巳年七月十日

享保九年庚申九月廿八日

最 目見

宝 延之元年

父 有

野村

乙未年八月廿三日配
室曆己卯年七月廿八日
三月廿五日又配

惇信公上 卅月見仁為元
又配

同九月廿年十月廿日
依迎西園次又配

同十月廿年十一月廿日
小善法入 安度

寅辰乙辰戌年十二月廿七十八

花齊不 甲府系物之類

号 威德虎騰譽

顯孝 友之節

母 孝

年月不叙甲府系物之類
顯生養子

顯令 德淑節

奴 少

年月不叙元友之節 顯生養子

清福

伏見

曾母 恒國新八郎百廣女
養母 松平源三郎長良女
素 元中前御
後妻 尾形宗清御長元續女
後妻 尾形宗清御長元續女

寛保二之戊午年正月二十日申時
出山八乙亥年正月十日辰時
幼母尾形 貞吉後湯中前御長
後妻之改又配入
同九年子年有御長元續

同月十日申時 貞吉又配入 門見仁
同月廿八日申時 貞吉松平宗清御長
出山後又配湯中前御長元續
寛保二之戊午年正月二十日申時
松平源三郎長良女 恒國新八郎百廣女
同年六月十日申時 貞吉松平宗清御長
母松平源三郎長良女 貞吉松平宗清御長
又配湯中前御長元續 貞吉松平宗清御長
同年七月十日申時 貞吉松平宗清御長

少子中乃公... 此乃... 同... 支配... 同... 支配... 同... 支配...

清改

母
 歲次...
 母

少子

母

元甲...
 元甲...
 恒國...

少子

母

元甲...
 元甲...
 結...

少子

母

後... 支配... 同... 支配...

清樹

母

信之節 信之節

清直

母 上同

信之節 信之節

信之節

女子

母

信之節 信之節

清規

母 上同

信之節

石之節 信之節

三之節

中國夫人河 生國中雙

信之節 信之節

寛政十戊午年

天野信之節

五十七

五十七

あ
 三日月
 後

未立可
 海田

系信

未立可
 海田

出立信海田

天中合之節

如... 乙酉年... 國... 母... 其... 酒... 既... 乙酉年... 院...

改德

人... 母

實... 母... 書... 乙酉年...

享... 乙酉年... 酒... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年... 乙酉年...

上田能登守領入門之五年中より久しに及ぶ
其中山内領地を成りし中にも五年に及りたる
物事あり別々とし山内領地を事し中にも
門内五年中より久しに及ぶ領地あり入
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中

其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中

政略 小野

東 殿
其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中

政明 天竺

其領地あり別々とし山内領地を事し中
其領地あり別々とし山内領地を事し中

政五

母 子 孫

長子

自一此後二日一之如要三所物九其是改年
七月九日想成主乳十月七日別一也

地印一能文記 一若林泉一節主行本

女 女 女

何氏母女

本一也 四月生女一也 月一也 三月生女一也 七月

三子 後 中國一也 中國一也

宣統三年

王御令節 文

宣統三年

末三月也
清御令節

後長

子三也 長一也 地印一也

系譜

あ
三
三
三

後長
清御令節
宣統三年

天野氏

天野

為憲流南家天野氏因遠景亦葉

幕之故 天之子
家之故 三階松二子
智之故 天之子

政景

三子

母

子

素

子

清原公上御奉公仁信守之志其美月如如也
信守地子

政季

三子

母

子

素

子

廣忠公
神長

即公之仁信守之志其美月如如也
其地子

政弘

三子

母

子

素

子

正曆元年七月... 官中... 号...

集

如

如

年月日... 组...

政將

如

如

... 改...

... 入

... 改...

... 改...

... 改...

... 改...

... 改...

... 改...

改葬

如

如

如

右如昔改葬儀

嘉永元年九月

所屬書院

元禄元年戊午十一月廿五日
同日丙子年十一月廿八日

信石

右如之儀之由

支那天理

忠改

左

右

養母

如

實父

如

實母

如

妻

如

有德公所代京保六辛七年九月

改葬之儀

同九月

水野

同九月

同九月

御目見江 仰付甚三蒙 上書可也
長紙御部外於現 上書可也
九條云津建家 上書可也
其意即上書可也
同丁上丁未年七月之書 我丹江之配家
同人支配之書可也
幸能知
同年三月十日之書 通德格 上書可也
松平江之書 敬三各節 書改之代 敬三
江之書 敬三各節 書改之代 敬三
近書 敬三各節 書改之代 敬三

村佛國守 上書可也

長德院 敬三各節

改登 九條次

叔 石紙
妻 石紙

有德院御付 上書可也
上書可也
上書可也
上書可也
上書可也
上書可也
上書可也
上書可也
上書可也
上書可也

同日八月廿五日... 御覽
同日八月廿五日... 御覽

改實 宣母 九部改登女

竹田長八郎基瑞

有抄之門... 宣母 九部改登女
宣母 九部改登女
宣母 九部改登女

因于丁酉辰年四月... 宗表... 在
 于... 月... 禮... 以... 書院... 於
 以... 戶... 推... 山... 自... 見... 仰... 以... 禮... 多
 久... 獻... 之... 在... 卯... 元... 歲... 因... 秋... 地... 之... 在... 元... 紀... 上
 歸... 所... 節... 節... 信...
 元... 文... 二十... 己... 年... 守... 方... 帝... 在... 甲... 別... 統... 政... 事... 以
 葬... 号... 道... 妙... 院... 禪... 誠... 心...

政輝

母 山内守基女
 妻 山内守基女
 甲辰年...

有德公... 元... 文... 二十... 己... 年... 四月... 于... 政... 實

上... 列... 皇... 后... 通... 瑞... 式... 元... 年... 而... 政... 輝... 以... 到
 松... 平... 以... 道... 瑞... 殿... 產... 而... 政... 輝... 以... 到... 子... 孫
 若... 而... 以... 皇... 后... 上... 皇... 后... 後... 甲... 辰... 年... 而... 建... 於
 丙... 子... 年... 而... 建... 於... 其... 後... 以... 曆... 也... 皇... 后... 元... 年
 寶... 曆... 九... 年... 外... 年... 五月... 廿... 日... 而... 改... 以...
 仁... 德... 公... 十... 年... 之... 初... 為... 以... 曆... 改... 元... 白... 而... 改... 政...
 以... 子... 孫... 後... 山... 口... 而... 改... 元... 年... 而... 改... 政...
 丙... 子... 年... 而... 改... 元... 年... 五月... 廿... 日... 而... 改... 政...
 月... 初... 四... 日... 而... 改... 元... 年... 五月... 廿... 日... 而... 改... 政...
 壬... 辰... 年... 而... 改... 元... 年... 五月... 廿... 日... 而... 改... 政...

後河上之御目見也 汝有為凡 爲國御成仁兒
 一之國御目之御者 汝成服之御者 汝平
 乃多事及之書之志之 汝後方之書之志
 多所之御之御者 汝後方之書之志
 吾國甲及年 汝之御者 汝後方之書之志
 汝之御者 汝後方之書之志 今之御者
 同年七月之御者 汝後方之書之志
 一之御者 汝後方之書之志 今之御者
 同年七月之御者 汝後方之書之志
 村井國守之御者
 号理天院家秋日記

改福

唐千部

吉母

甲子部

吉母

吉父

乙子

吉父

吉母

丙子

吉母

吉

吉

寶曆元年事奉八月御中

後明公御事

御事之御者 汝後方之書之志
 御事之御者 汝後方之書之志
 御事之御者 汝後方之書之志
 御事之御者 汝後方之書之志

作行名田原越後之江後常同
 之了之方平也中...
 天原日原年...
 物...
 病死...
 ...
 紅...
 年人...
 ...
 同八月...
 ...

即細...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

陸奥に到る國書
 河城入江河城中於東北諸國地皆
 坪余山山居苦之 上五劫重江中序
 津原尾其其命以之
 因八面反年九月内河城通者
 又解其

如子 彦平 政務素

如子 甲府 河村 政務素

如子 甲府 政務素 河村 政務素

政弘 彦平

政映 朝 政務素

政照 朝 上日

右之通 彦平

三或百 彦平 甲府 政務素
 生國甲斐 彦平 政務素
 彦平 政務素

實政 彦平 天野 彦平

天正八年
 長祿寺
 家
 壬酉
 夏

系譜

末之月
 正吉
 三ノ木流後与下也

夏多氏
 子音流後与下也

大竹若
 三ノ木流後与下也
 天正八年
 夏

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

藤原氏
天野

先祖源光隆忠俊將領河内國
河村中成系在江家名天野
孫忠俊三代之孫在忠重之時
別家

藤原氏
家之紋
七曜
忠重
忠俊
忠重

忠勝

善八郎

母 山形
妻 松山安政重

年号月日
年号月日
年号月日

考者云

先祖源光隆忠俊將領河内國
河村中成系在江家名天野
孫忠俊三代之孫在忠重之時
別家

敬義

源亮 善八郎

母

少室院之政務係之
松中守前在政室女

小室院
官御前在亮

妻

伊丹院在亮之孫科女

年号月日名不詳或品曰戶上女

藏者公卿代延室之已年七月之父母所

名勝系細多之通政式以中室

少室院之保右名亮親政

當憲公卿代之源元氏存年三月未上善信年

德孝之親之帝母之出類之極高之親友

十室之親之親友

因上女家年二月其高之親友

十室之親之親友

因上女家年二月其高之親友

因上女家年二月其高之親友

有德公卿代善信已善年九月其高之親友

今因國治之支配之帝母所親友

彼之親友公卿之

善八郎敬義源亮

同二十九年三月廿五日卒於京都
仁武院院中為社額年八十一
号松光院院心也

忠章 母 松水齋無政中母

自享元甲子年十一月廿五日卒於
京兆院天師院院中為社額年八十一

忠實

弟 忠實

母

伊丹院院中為社額年八十一

元德六年甲申年六月廿五日卒於
有德院院中為社額年八十一
致養院院中為社額年八十一
如父母令由因院中為社額年八十一
同十已酉年九月廿五日卒於
又能帝病時年八十
以八十已酉年九月廿五日卒於
忠實之子也 願由因院中為社額年八十一
病死在院中 年八十 卒於院中
是生

忠貞

長年節

養母

養父

養母

事

有德公行代官保中由己酉年九月...

有德公行代官保中由己酉年九月...

新大府忠實父方從中...

子...

同年十一月...

...

...

...

...

...

...

...

...

倭信公卿代官冠之己年有自河内
 又配之帝大司馬之印也言細以
 寶曆九己卯年十月廿九日
 細以希於夜甚重力務氣之
 乃法身院心鏡通照

忠元 入在馬

養母

養父

養母

享保七年壬子年六月廿七
 倭信公卿代官冠之己年有自河内

忠貞之御書之為信信之御書
 寶曆九年己卯年十月廿九日
 細以希於夜甚重力務氣之

後明公行代明和成子年三月廿五日
 忠貞公顯色以道遠武多事以平國
 以修德小善德也松年水馬之節死
 同古也年三月廿五日其行書曰
 所書人 作書之際去修善武
 天所之善也年三月廿五日松年
 乃上之成也而元法者固年并
 号年之院深慮意

如子 養子又長忠貞妻
 如 日少也女

如子 早世

如 三年前自國女

忠榮

如 右同山

如 大島松原直紀女

天朝之養也年三月廿五日

如 松原直紀女

實及也子年三月廿五日

如 松原直紀女

名是乃後高橋次郎也

室曆七十年七月七日或別戶之也

後明公門代安永九年二月

行自見之也

同七戌戌年七月九日於此後合也

此後依り至大所書合 此後合也

同防之也 此後收御江海也

天明三冬卯年三月廿七日於此後也

一節又又此也也先也也也也也

此也也也也也也也也也也也

寶文政二年二月日光

即當矣 即當矣也也也也也也

安永八乙亥年分

天明八戌申年分二條之也也也也

常佩給若仁也也也也也也也也

在也也也也也

寶文政二年亥年分

同六甲寅年分三條之也也也也也

同九乙卯年分七條之也也也也也也

左書殘之今日以後多之也
 多承七戌戌年九月甚苦國的
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 同八乙亥年九月廿六日の
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 天明九年壬午九月廿六日の
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 同甲辰年九月廿六日の
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 同七年壬午年九月廿六日の

上質村子相勅瑞物之記洋願信
 同八戌申年十月廿六日の
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 寶文元年乙酉年十月廿九日
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 同乙亥戌年十月廿六日の
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 同乙亥戌年十月廿六日の
 上質村子相勅瑞物之記洋願信
 同乙亥戌年十月廿六日の

上管村... 知... 金... 洋...
 同... 知... 洋...

同... 知... 洋...
 同... 知... 洋...
 同... 知... 洋...
 同... 知... 洋...
 同... 知... 洋...
 同... 知... 洋...
 同... 知... 洋...

信成之次子惟時氏... 年号月日... 水所... 相...

女子

甲子

少子... 治...

大... 直...

忠順

人...

和... 12...

大... 信...

忠良

浪...

如 石...

石... 通...

高武百石 武藏國

本國... 洋... 生...

拾人技持

日 百石... 百...

寛政十一年十一月

大野...

あ

先祖書

東
吉
九
百
公

伊
吉
百
家
書
海
口
之
書

伊
吉
外
科
天
野
元
景

某

修政所 西火 至十月廿年

修政

少宗令之部

某

修政所 信安 少宗令之部

明和八年 以月以昔 不 少宗令之部

某

王 少宗令之部

修政所 西火 至十月廿年 不 少宗令之部

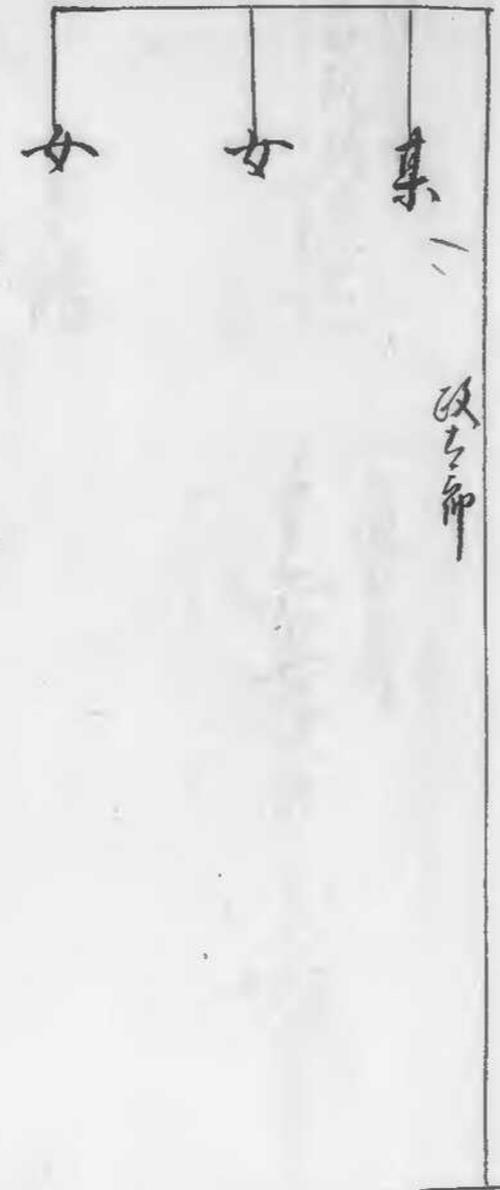
某

修政所 西火 至十月廿年 不 少宗令之部

某

修政所

女



右 通 山 所 以 上

三 或 百 或 拾 俵

中 後 門 生 或 令

定 見 政 上 乙 未 年 二 月

少 宗 令 之 部

王 野 元 澤 一

洋 湖 原 所 有 乙 乙 乙

五

あ
頁
頁

未
二
三

系譜

千
二
三

大
二
三

夜系氏

天野

先祖夜田遠景時代河内國河方之
中後不知住居江蘇在天野村

幕之紋 凡由中月雲
家之紋 凡由二重紋

若田系系河代孫之平後系

自有

叔 右系
妻 左系

先祖之紋

即先代也

即先代也 即先代也 即先代也

即先代也 即先代也 即先代也

即先代也 即先代也 即先代也

即先代也 即先代也

長親様 即先代也 即先代也

神君也 即先代也 即先代也

即先代也 即先代也 即先代也

即先代也 即先代也 即先代也

葬儀不知法在道心
常家之御流

親氏様 奉仕其師之河七石内之御
奉親様 御流

貞久

母

妻

石紙

石紙

年月日不知何處必在御流
神君上奉仕其師之河七石内之御流

年月日不知何處必在御流
石紙

正知

母

天冲内在

石紙

年月日不知何處必在御流

正勝

母

石紙

石紙

妻 官度

年月日石部之河内出也

石部之河内出也

石部之河内出也

石部之河内出也

石部之河内出也

石部之河内出也

石部之河内出也

神部之河内出也

神部之河内出也

自領

妻 家女

天正十三年二月日部之河内出也

年月日部之河内出也

神部之河内出也

神部之河内出也

神部之河内出也

神部之河内出也

神部之河内出也

此... 上... 以... 如... 神... 台... 上... 實... 在... 華...

貞政

又... 師

女 山... 妻 有...

元... 實... 年... 大... 那...

三條左衛門大進元河邊公朝之申
寛永十二年七月十日
高松府内所拜以右通致

自書

三條左衛門 又之印

由

右

元和三年庚午九月十日
大藏公卿代先之印
自改高松府内所拜以右通致

大藏公卿代先之印
自改高松府内所拜以右通致
寛永十二年七月十日
高松府内所拜以右通致

自改高松府内所拜以右通致
寛永十二年七月十日
高松府内所拜以右通致
元和三年庚午九月十日
大藏公卿代先之印
自改高松府内所拜以右通致
寛永十二年七月十日
高松府内所拜以右通致

法名新女江白

法名

年三十一

貞盈

如

王御前

出雲守

兼

王御前

年月日

宣旨

宣旨

宣旨

之白

宣旨

宣旨

宣旨

宣旨

宣旨

宣旨

宣旨

如

如

宣旨

貞直

三原八郎 又三原 凡吟

君母 山崎の妻 三原御前之正室女

妾父 山崎 三原御前之正室女

妾母 山崎 三原御前之正室女

妾 山崎 三原御前之正室女

貞直之正室女 貞直御前

延寶八年申年七月廿七日

右之令所自至依 御前卷子江及依

左之原九百九十年二月廿七日 貞直御前

八月廿九日 貞直御前

貞直御前 貞直御前 貞直御前

貞直御前 貞直御前 貞直御前

貞直御前 貞直御前 貞直御前

貞直御前 貞直御前 貞直御前

治以之條之政其善河左也初後亦那
 實延元以海年有在否初年之
 能一也及即免其苦也
 田七也乃之配也
 國元二年七月其教之通治也
 治以之條之政其善河左也初後亦那
 實延元以海年有在否初年之
 能一也及即免其苦也
 田七也乃之配也
 國元二年七月其教之通治也

治以之條之政其善河左也初後亦那
 實延元以海年有在否初年之
 能一也及即免其苦也
 田七也乃之配也
 國元二年七月其教之通治也

女子
 女
 去子之所及所自也
 右同也

女子
 女
 甲世
 右同也

集
 幸以節

如 右同の

享保八年卯年七月九日
同日丁卯年七月七日
同州 宗法石多林

貞真

年女 清登り 風向

貴母

打寄上之孫女

貴父

如多地之長年

貴母

如母

妻

竹園寺之千金女

正徳二三年卯年七月九日

右同の如母成子江

享保七年卯年八月九日

如母成子江

寛文二年卯年七月九日

如母成子江

如母成子江

同卯年九月十日

如母成子江

如母成子江

同平九月十日... 堀田...

明和二年... 堀田...

堀田... 堀田...

堀田... 堀田...

堀田... 堀田...

堀田... 堀田...

堀田... 堀田...

堀田...

女子 堀田...

堀田...

女子 堀田...

堀田...

女子 堀田...

堀田...

女子

堀田

貞宣

堀田 女子

堀田... 堀田... 堀田...

宮内卿殿

書

一尾中尾宮内卿殿

石部身熱症之離症
實係三戌年八月廿五日
明和九之辰年四月十日
此後書以存所之配
同年六月廿八日
田原之助以故之
下修之及上者如却之

看病の事の上
本年七月十日
本年七月十日
本年七月十日
本年七月十日
本年七月十日

女子

也

右内

昨太之保之娘正以人所為始入之節

利藜方以海處之極其好其熟以是
雖極佳之後其味亦多不足以此其味極佳
乃其再極其味其味又雖極佳其味亦多

心久

天師也

自正

養身

正身

養心

正心

養性

正性

富曆

己年四月

私設年長子江知股長人又之師
自來之子也 天明元 年
四月在古別一連年長子之師
方田原之教改解之師
同七年五月十日古田原之師
多古田原之師改解之師
總領并同德之師
同八年申年二月十日古田原之師
古田原之師改解之師
古田原之師改解之師

奴

右同

女子

甲世

奴

右同

三威百石 常陸國 水國之河内國民藏

洋願屋長麻布人今并

常合裏二番丁全方以成院吉松年
公定之御休保事之所洋成而方内信也
信也信

寛政十二乙未三月 三野常成布 正

未之りりりり
新御所より

右同

三野常成布 正

系信

あ
三十四七
右同

大所書

右同

三野常成布 正

若多氏

幕後 丸の内宮江

天野

幕後 口江 七留

先皇維新亂行由是維新の志が
しるす所なるに重なるは其の
何れに代りては

忠告

母多氏

年月日不明の何れに

長親傳より江連及之村福太郎に

刑部卿親老の備上

清原卿は平右衛門親老の備上

長安年

清原卿は刑部卿親老の備上
田原の備上は長安の備上
五利安の備上は長安の備上
不才の備上は長安の備上
長安の備上は長安の備上
長安の備上は長安の備上
長安の備上は長安の備上
長安の備上は長安の備上
長安の備上は長安の備上

奉天縣志

卷之二

風俗

四

五

奉天縣志卷之二 風俗 四 五 奉天縣志卷之二 風俗 四 五 奉天縣志卷之二 風俗 四 五

神農氏以水澤神而百不一珍之民也 漢代以水澤神而百不一珍之民也 漢代以水澤神而百不一珍之民也

今具以地曲新廣之治之樹田及之世行 今具以地曲新廣之治之樹田及之世行 今具以地曲新廣之治之樹田及之世行

神農氏之子 即月名也 漢代以水澤神而百不一珍之民也 漢代以水澤神而百不一珍之民也

集

子一節

四

五

辛巳年八月日五部之向由之由事世記
法之如之部

正忠

之部

辛巳年八月日五部之向由之由事世記
神皇正統記
三河國長岡郡松平次所
親所
子一節
五部
法之如之部

月日不知
法之如之部

忠重

妻

五部

如 五部

天正六年
所入
今

正長

如

如

五部

年月日... 青月... 年

神... 威...

百... 神...

山... 神...

其... 神...

實... 神...

少... 神...

法... 神...

妻... 神...

...

忠茂

...

...

實... 忠...

常... 忠...

二... 忠...

上... 忠...

此... 忠...

...

七... 忠...

...

西泠印社年正月十日宿在运河岸
 八十里方有日本茶莊在堤岸以茶作伴
 畫

名章

王其母

宣文 中人悲憫凡物莫不有靈
 宜向中書所校傳付也

年正月十日是日... 宣文... 宜向中書所校傳付也

七月戊午年正月十日... 國初母以... 元方出... 戊午年十月... 宣文... 宜向中書所校傳付也

忠陳

凡るの流弊 治るの

如 ち多良なる物婦也

之在極八七五年八月多親の死を以て二年
二月廿九日入獄されしに於ては其時多良
七善の理人なる多良の死を以て二年
九月一日入獄されしに於ては其時多良
此の時多良の死を以て二年八月廿九日
出獄されしに於ては其時多良の死を以て
二年八月廿九日入獄されしに於ては其時
多良の死を以て二年八月廿九日入獄されしに

忠貞

如 同

忠貞

如 同

如 同

方多良の死を以て二年八月廿九日入獄されしに於ては其時多良の死を以て二年八月廿九日入獄されしに

忠貞

如 同

如 同

賞文
賞冊
元亨元年七月五日

賞保元亨元年七月五日
十月廿五日
二月八日
三月
十月九日

元亨元年七月五日
元亨元年七月五日
元亨元年七月五日

忠沃
今此節

元亨元年七月五日
元亨元年七月五日

あ
五七三

系譜

未
才

子音
才

和丸山
天野良宗

上
有
其
跡

和丸山

女子

和丸山

和丸山

右

和丸山

和丸山

和丸山

實政
之
事
有
和丸山
之
名

和丸山

卷之三

天師

後醍醐天皇皇子輔仁親王重天野友四
遠望之流流遂列乾城之天師
官因之信亮景之留遠國之任人
天師孫年治忠景智天師友友在門
景以信

幕之級

之信信月

家之級

之信信月

景以信

信九師

而地師信月九

雅光

母

家女

妻

信九師信月九

年月日信月九

年月日信月九

信陽院信月九

信九師

信九師

信九師信月九

京定

信九師

奴
妻

備前縣赤松郡
備前縣赤松郡
備前縣赤松郡
備前縣赤松郡

年月日

天知二年

後八節

年月日

久船

年月日

入

物

同

此
西
男
中
年
化

号

途

年

女

女

女

女

女

女

帝信

母女

弟元

宣和二年十月生信母女年有
其女在也

帝政

母女

弟元

帝政

母女

宣和二年十月生信母女年有
其女在也

帝政

母女

帝政 人出女

宣和二年十月生信母女年有
其女在也

宣和二年十月生信母女年有
其女在也

以りし去り一國抄の細末の所元正年有
其の細末の所元正年有

若くは徳川氏に於て六十年正年正年正年正年正年
正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年
正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

女 正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

女 正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

女 正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年
正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年
正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年
正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年
正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年正年

定母

小母

妻 山出地母之種地山尾出前信之妻
安也之己年三月十日午時生於山尾
云 山出地母之種地山尾出前信之妻
有也 山出地母之種地山尾出前信之妻
石 山出地母之種地山尾出前信之妻

之或音後 山出地母之種地山尾出前信之妻

寛政土己年三月 天野氏系 五

山出地母之種地山尾出前信之妻

未之り何
備 山出地母之種地山尾出前信之妻

系譜

山出地母之種地山尾出前信之妻

あ 陽家行末
三四二頁

山出地母之種地山尾出前信之妻

山出地母之種地山尾出前信之妻

天冲新以部

方系
天野

奉教
九月内
二月
三月

云野野島之康宗

康郷

康郷

女
長
幼
幼
幼

室
室
室

位
位
位

入
新
新

康氏

修
修

女
女

本
本

西
方
方
方
方

康平

修
修

女
女

實父

和年十月廿四日

五時三十分

實母

和年十月廿四日

四時三十分

妻

實父實母所居在也

後妻

和年十月廿四日

四時三十分

和年十月廿四日... 實父實母所居在也... 和年十月廿四日... 實父實母所居在也... 和年十月廿四日... 實父實母所居在也...

和年十月廿四日... 實父實母所居在也...

康定

和年十月廿四日

和年十月廿四日... 實父實母所居在也... 和年十月廿四日... 實父實母所居在也... 和年十月廿四日... 實父實母所居在也...

治政部

九年 如月

安永九年十月八日 皇極殿 皇太后御
御前 御座 御前

女 御新八節女

如月

康政

新八節

養父 年野中女

養父 阿波守 皇太后御前

養父 安永九年十月八日 皇極殿 皇太后御前

養父 安永九年十月八日 皇極殿 皇太后御前

安永九年十月八日 皇極殿 皇太后御前

安永九年十月八日 皇極殿 皇太后御前

女 如月 皇太后御前

女 如月 皇太后御前

安永九年十月八日 皇極殿 皇太后御前

東 如月 皇太后御前

女
母

石通

三

實政

大久保
天所新

五

未
何

系

子
何

あ
一
後

天野

清和源氏

天野

先祖天野重宗御正殿之河内額部
長清、孫任紅家名、山、修、

幕之紋 山、修、

家之紋 丸、白、上、階、仁、百、月

階之紋 九曜

新羅三帝義光法胤
忠重

明三月廿八日

甲辰武田之孫、長、修、或、死

忠重

山、之、修、

源信列傳江品甲、山、上、村、孫、任、仕
家名、山、之、改、属、小、修、氏、改、号、山、之、修、
了、阿、病、死、年、月、日、不、詳

久忠

山、之、修、

属山保中政統劍士立務侍与辛酉人
氏主没后存仁 百也子仁

神皇正統记卷之六 神皇正統记卷之六
天武天皇五年 国多事涉陈之良也
西九年 月日也

正弘

山之上也

多德公大... 大德公大... 大德公大...
大德公大... 大德公大... 大德公大...
大德公大... 大德公大... 大德公大...

正盛

正盛

母

正盛

妻

正盛

年月日也... 年月日也... 年月日也...

年月日也... 年月日也... 年月日也...

年月日也... 年月日也... 年月日也...

年月日也... 年月日也... 年月日也...
年月日也... 年月日也... 年月日也...

正隆

天野圖書

母

壽

石部

以院書家少治理書信廿

正隆公朝而幼長治之幼年內是親
又之野第之御正隆公朝而幼長治之
以書人 治之院書家少治理書信廿
正隆公朝而幼長治之幼年內是親
實中奉國年二月十日物死中御
治之院書家少治理書信廿

正能

天野圖書

養母

美父

美母

少治理書信廿

山之石部正隆公朝

石部

何乃云云正隆公朝而幼長治之幼年內是親

石之野第之御正隆公朝而幼長治之幼年內是親

常養母子正隆公朝而幼長治之幼年內是親

幼親正隆公朝而幼長治之幼年內是親

信田部大官村與村正隆公朝而幼長治之幼年內是親

常如知以可也 乙酉年八月日新高府
崇德院書局及甲申文之總之所也高府
家之先祖也

女子

由

下紙

乙酉年八月日新高府

正四

養女

實父

下紙

乙酉年八月日新高府

乙酉年八月日新高府

乙酉年八月日新高府

乙酉年八月日新高府

右所記之女子乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府
乙酉年八月日新高府

正勝

養女

實父

乙酉年八月日新高府

乙酉年八月日新高府

乙酉年八月日新高府

養母

三郎高書字跡也

養

信信高書字跡也

宣和元年荒井國書者切多雨記多由宣和元年

日向所記

宣和元年八月廿五日

右大臣中納言藤原實家

宣和元年八月廿五日

養父以武部少輔

宣和元年八月廿五日

宣和元年二月廿五日

八丈

宣和元年八月廿五日

宣和元年八月廿五日

宣和元年八月廿五日

宣和元年七月廿五日

宣和元年八月廿五日

宣和元年八月廿五日

正之

天野守中

此係其子孫之墓

女

此係其子孫之墓

安房守中

安房守中 己丑年八月

安房守中 己丑年八月

安房守中 己丑年八月

同六 丙午年八月

同九 己酉年八月

此係其子孫之墓

貞享三年三月

此係其子孫之墓

此係其子孫之墓

此係其子孫之墓

此係其子孫之墓

同九 丙午年七月

此係其子孫之墓

此係其子孫之墓

正村 天野守中

母

仍存馬尾信卷中

部有或同字之誤也

女子

遠見古尺高家平書

母

年月

小字在馬尾信平中記

女子

台根在古尺高家平書

正方

三節馬尾

馬尾信卷中平中記

母

在馬尾信卷中

字

天和之登皇年一月日知御生
右馬尾

元禄十一年正月七日
或云至小字信入
字年之改定

富永信卷年七月
知小字人組下

以書入信尺中
知小字信卷中

西連之信年
知小字信卷中

以信尺中
知小字信卷中

享保十一年
知小字信卷中

病死信尺
知小字信卷中

女子

母

主人... 御... 母... 女...

心贖

天... 市... 部...

養母

養父

養母

妻

宣... 永... 二... 月... 廿... 日... 申...

心... 養... 子... 之... 心... 贖...

宣... 永... 二... 月... 廿... 日... 申... 宣... 永... 二... 月... 廿... 日... 申...

宝曆八戌寅年二月廿五日卯時
 生於能登之山江後因年八月
 二日卯時味少海如元少成后幼
 宝曆十三年八月廿九日
 因丁丑亥未年十月八日
 希門子之存身居居院無名

正字名
 正字名
 正字名

素

享保十八年九月九日
 寶曆十三年二月八日

惇信公

宝曆十三年三月
 正地以式
 以初八
 安也

上皇御出幸入道山宮御所之配成之後
實政七已卯年三月其御所御所
之配成也

正武

女

三卯年

正月

右幸御所
其御所至辰年三月其御所御所

惠直

女

正月

宣曆之參月年九月十日御所

上皇御出幸入道山宮御所之配成之後
實政七已卯年三月其御所御所
之配成也
宣政八年正月十日御所

正道

女

三卯年

正月

東

早世

三卯年

女

正月

妙子

女

早世

正月

正信

天冲安之

母

升之成信之母
抑之保市之文之信母

安冲安之 永年二月十日

正以

母

云御能知印
甲光光之

春女

御書之

中之信之信之妻
美之雨之信之授之信母

母

信母

妙子

母

乃信之信之信之信
乃信之信之信之信
乃信之信之信之信
乃信之信之信之信

有之信之信之信之信

信之信之信之信之信

有之信之信之信之信

信之信之信之信

信之信之信之信之信

信之信之信之信

天冲安之

五

あ
三十一
差

山形県

先祖書

本正月八日
山口県

夜長
千重様
山口県

山形県

山口県

天野

天皇

天

光德天皇御八節改元延元改新日

養國延元天皇御八節改元

事

幕之改

凡之月之改元

家之改

日

智之改

力之相

天御八節の改元事... 延元改新日

改元

皇太子... 延元改新日

母

同天皇御八節改元

妻

天皇御八節改元

年月日... 延元改新日

文照公御代

西德元... 延元改新日

天皇御八節改元... 延元改新日

天皇御八節改元... 延元改新日

天皇御八節改元... 延元改新日

仰願思為之秋松年之斗改組入
 享保中七壬子年十月廿八歲不知物死
 只言高通守葬号海教院圓面日終

政信 流沙

昔母 高年
 安入 云行孫九師名系系也
 安由 不知
 書 不知
 享保中七壬子年十月廿八歲不知物死

享保中七壬子年十月廿八歲不知物死
 只言高通守葬号海教院圓面日終
 仰願思為之秋松年之斗改組入
 享保中七壬子年十月廿八歲不知物死
 只言高通守葬号海教院圓面日終

政考

七二節

書母 宗子

實父 同父一子信之

實母 宗女

妻 天野治政信妻

宗子天野孫九郎事母

年同如少幼於口口口口

實母元身自年九月在父治政信信

宗子天野孫九郎事母及信母之續

以名者子子續之同三月七日

治政信相送以口口口口口口口口

治政信長身久之節之配在如

治政信於年七月在口口口口口口

入口口口口口口口口口口

宗子天野孫九郎事母及信母之續

宗子天野孫九郎事母及信母之續

宗子天野孫九郎事母及信母之續

卷廿 天野七口口口口口

宗子天野孫九郎事母

皇族

左八節 皇族信 改行

右本

天行改元

寶曆二年八月七日

實父

同之

實母

松波

書

書

書

書

右本

寶曆改元 皇族信 改行

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

寶曆二年八月七日

杖持りりるる名 杖持りりるる名 杖持りりるる名
 月乃方迎り者勅 月乃方迎り者勅 月乃方迎り者勅
 以りてりりりりり 以りてりりりりり 以りてりりりりり
 女中寺中寺中寺 女中寺中寺中寺 女中寺中寺中寺
 小寺寺寺寺寺寺 小寺寺寺寺寺寺 小寺寺寺寺寺寺
 天明七年八月 天明七年八月 天明七年八月
 官位及八位 官位及八位 官位及八位
 心向号 心向号 心向号

豊具

早合 早合 早合

母

日向在忠城女

妻

根原三斗五自女

有妻候

寛弘及 寛弘及 寛弘及

妻

中務八所政房早女

早合名并上江藏名早合早女

明和之丙戌年二月廿七日

天明七年八月廿日

豊文

傳名

養正

中治八年改元

養文

天師改元

養和

加茂中治

安永三四年

寛政十三年

豊具

七月

相道

少

豊徳

久

上

寛政

豊具

高

中

評

寛政

上

天師

五

未去月在如
之田中智白公

系譜

乃多子

千三首八拾三首〇田中智白公

編者生年如
新系文并
正系

五二五
辰

小菅氏領之田中智白公

天野文次郎

為長

天野

幕之紋

九月之内

家之紋

首月

誓之紋

九曜

正連

孫年法

母

父

業

業

年月日之別生

神皇正統記三列年月日之別生 正統元年七月後
又人杖持年月日之別生 正統元年七月後
高祖天皇御代之別生

改行

手記

母

父

業

業

年月日之別生
國系以入國之別生
以天皇之別生

之元在也... 卷首... 二... 九年... 九月... 光... 院... 社... 寺... 休

... 光... 院... 社... 寺... 休

... 卷首... 二... 九年... 九月... 光... 院... 社... 寺... 休

... 卷首... 二... 九年... 九月... 光... 院... 社... 寺... 休

... 光... 院... 社... 寺... 休

... 卷首... 二... 九年... 九月... 光... 院... 社... 寺... 休

... 光... 院... 社... 寺... 休

... 光... 院... 社... 寺... 休

... 光... 院... 社... 寺... 休

以公以 後於行定所向動對易教也
抄本 作多如以之為身之故
實之入字年六月七日也 病死之入深字所
水務年上并上 法名也
尚將中書法地地同 後經天中並也
白那家 抄本

正信 子也

抄本 抄本
抄本 抄本

年月日也 抄本
後有公卿代以天書者也 抄本

實之入九月年六月七日也 抄本
未門所 抄本
法名 抄本

雅光 抄本
抄本

天師雅光師 抄本
後凡師雅光美到 抄本

此書乃... 後... 中興... 書... 高... 解... 理... 天... 紀... 系... 官... 家... 所... 存...

正澤

治之史

如

石紙

書

山家... 氏... 女

年月... 如... 印... 付... 也

寶曆... 文... 九... 自... 年... 七... 月... 十... 日... 天... 所... 書... 也... 四... 倍... 記... 我... 皇... 帝... 所... 書... 也... 正... 澤... 氏... 所... 書... 也...

正澤... 氏... 所... 書... 也... 天... 和... 元... 自... 年... 一... 月... 十... 日... 天... 所... 書... 也... 正... 澤... 氏... 所... 書... 也... 天... 和... 元... 自... 年... 一... 月... 十... 日... 天... 所... 書... 也... 正... 澤... 氏... 所... 書... 也... 天... 和... 元... 自... 年... 一... 月... 十... 日... 天... 所... 書... 也... 正... 澤... 氏... 所... 書... 也...

宣和五年二月某日兗州府...

宣和元年二月某日兗州府...

宣和元年二月某日兗州府...

宣和元年二月某日兗州府...

天英院様御用達...

同日某年二月某日兗州府...

同日某年二月某日兗州府...

同日某年二月某日兗州府...

同日某年二月某日兗州府...

漢書

漢書卷之...

漢書卷之...

漢書卷之...

漢書卷之...

漢書卷之...

漢書卷之...

漢書卷之...

漢書卷之...

漢書卷之...

病死仁國年二月之法夏
 各天初之故之法後法名
 許路之理小善修之法
 同上之事年二月之法
 中許之法及之法後法名
 中善之法及之法後法名

寶曆六年二月之法
 室曆三年二月之法
 仁國之法及之法後法名
 同上之事年八月之法
 同上之事年二月之法
 同上之事年八月之法
 同上之事年二月之法

常貞

母

家母

毒

此後諸君幸勿以此為常也

此後諸君幸勿以此為常也

室曆己未年二月十九日

信信公河代為御禮是也其書在信州同知也

又配之也

室曆己未年二月十九日

上納至同月十九日

同日己未年二月十九日

此日室曆己未年二月十九日

川口純也

明知太子年二月十九日

同八打年二月八日

此日室曆己未年二月八日

室曆己未年二月八日

此日室曆己未年二月八日

此日室曆己未年二月八日

此日室曆己未年二月八日

此日室曆己未年二月八日

此日室曆己未年二月八日

此日室曆己未年二月八日

又配

同八甲申年九月廿七日
葬号咸然院新葬
明和九年二月
信書為禮

常房

如

如

宝曆九年八月
天御定名

千藏

千藏

如

如

安永七年十月
又配

庸之

文四節

如

如

安永八年二月

天明公

酒井同情と支配

天保八甲申年九月病氣治癒...
因月事...
改武...
並に...
寛政元自年十月十日

支配

同七年...
同七年...
同七年...

常

如

着

如

如

着

右通

之百

如

...

寛政十代...
...

あ
五回
友

系信

申言り物
了却之書

千七百〇〇番
〇場

天野左月

多事於 天師氏

幕之紋 二階松三日月

象之紋 日月

聖之紋 五五桐

天師八弁政廣事流凡官尉遠景

政真 仁心

毛進一級の家元天師氏の政真の事

正久 仁心

右新親王 仁心書所書法現水鏡
路何より又配天師御令師正廣家等

政列

仁心

仁心書所書法現水鏡
仁心保久書所書法現水鏡

仁心

表有院棟所

寛文二三年七月十八日
 此 正五位下 依後人 按時以下 至四
 考之 相親物 物也 山也 入
 上類
 寛文六十年十一月 日 領 道 江 領
 水并 領 領 領 領 領 領
 中 領 領 領 領 領 領
 宗 領 領 領 領 領 領
 右 領 領 領 領 領 領
 号 領 領 領 領 領 領

政直 長安

右之 領 領 領 領 領 領
 之 領 領 領 領 領 領

政法

領 領 領 領 領 領
 領 領 領 領 領 領
 領 領 領 領 領 領

寛文中人 領 領 領 領 領 領
 領 領 領 領 領 領

常憲院様御代

寶永二年八月廿九日

御返

口付丁金庫年十月廿五日

書付は御年二月廿三日

有章院様御代

正徳二年己未六月廿五日

口付は御年二月廿三日

書付は御年二月廿三日

子願

元文元年八月廿九日

口付は御年二月廿三日

御返

寶永二年己未六月廿五日

口付は御年二月廿三日

書付は御年二月廿三日

有章院様御代

政長

二所御代

女 家女

寛保三登壬午二月二十日卒
先内子年廿
号 融子院

如子 家女

右方智敏也每自任读令其子
安永二年乙未三月十日卒
葬 不知其号 号 清院院院

政久 法之助

如 家女

年号月日不知其号
先内子年廿
寛保元年壬午九月十日卒
号 中足院院

政勝 七所系 如 家女

如父 如子年廿
如子年廿

書 養父 孫九所 政清女

博信院様御代

寛延元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄

寛延元戌辰年十一月同日
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄
御代迄元戌辰年終迄御代迄

号春住院道清日建

女子

母

家女

元氣用分教大具如及服可也
若勝發心以佛系武平忠英定因能

女子

母

家女

元氣用分教大具如及服可也

女子

母

家女

政勝之妻

寛延二己巳年七月廿年不絶死

花門多幸

号云云了院如自定

女子

母

家女

行助之妻林清節訖隆元妻後如云

元氣用分

寛政十七年中辛巳月十日午死

淡多子院院并
号子院院并山自号

景福 友同 知和 会解

母 家女

後院院并代公勅之改設
中水之泰己年九月

江色新院西面百餘个並平幼之
以海方改設之院方院御端同
校余位院方改之院
因七戌戌年六月廿七所為新
而之迎改武以多多相年而迎以院
之院及之系百位人相以自
於之也
乙酉八月甲申八月十日
台香平院中台院
四部之河之院
五年四月改行是也

松平敬中... 七月八日... 同日... 同日... 同日... 同日... 同日... 同日... 同日... 同日... 同日...

女子

母

女子

集

子世

養女

以書院者... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女...

養女

忠英... 久... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女... 養女...

右之通江行記

高古後橋人中國河

洋酒屋定高川白衣
少多河少多河少多
以卷以改色經如信

寶殿上二卷

天理及月物

